

新「放射線副読本」を改善し作り直すことを要求します

本年2月28日に貴省は新版「放射線副読本」を発表し、3月3日貴省ホームページに公表しました。「小学生のための放射線副読本～放射線について学ぼう～」と「中学生・高校生のための放射線副読本～放射線について考えよう～」です。4月から順次全国の小・中・高校に送り届けられています。これは福島原発事故の後、全国の学校や公民館に配布された旧版「放射線副読本」に代わるものと考えられます。

旧版は、福島原発事故について全く述べず、放射線の効用を強調し、低線量被ばくの危険性を否定するもので、原発事故時には建物の中に避難し風評に惑わされるなど、福島事故がなかったかのような内容でした。そのため、福島県をはじめ全国の学校、家庭、労働組合、市民運動などから厳しい批判が起り、政府の事業仕分けでも厳しく判定されました。その結果、旧版は実質撤回されたものと考えられます。新版の制作部署は原発を推進してきた研究開発局から初等中等教育局に代わり、内容も書きかえられました。

ところが、新版の内容を見ると、前半の第1章に福島事故による放射能汚染地図や事故を起こした原子炉の写真等を入れ、福島事故によって被害を受けた子どもたちのことも書かれていますが、事故を起こした国と東電の責任については書かれていません。後半は旧版を踏襲しており、冒頭の「はじめに」では「原子力や放射線の利用にあたっては、事故が発生する可能性を常に考え」冷静な避難を行うとしており、原発の再稼働を前提にした姿勢となっています。

未だ福島事故は収束せず危険な状態が続き、高い放射能汚染のために避難生活を強いられている人々が14万人、放射線管理区域以上の放射線のもとでの生活を強いられている人々が多数います。福島県の多くの子どもたちが避難を強いられ、汚染地で生活し汚染地の学校で学ぶことを強いられているのです。原発を今後も使うかどうかについては国民や住民の中で意見が大きく分かれています。そのなかで、学校教育で使われる副読本において原発の運転を認め、今後も事故による被ばくもありうるというような一方的な主張を述べるのが許されるでしょうか。

未来を担う子供たちにとっては、省エネにどれだけ取り組み、どのようなエネルギーを選び、どのような社会をつくるのか、自分たちで考え選択することのできるような教育が必要です。教材はそのための基本的で公平な知識を提供するものであるべきです。私たちは、新しい副読本を以下のような姿勢で作り直すことを要求します。また、福島の子どもたちには被ばくや避難による被害を少しでも改善する対策を要求します。

要求事項

1. 副読本には、大幅な省エネの可能性と日本のエネルギー源として、バイオマス、風力、小規模水力、太陽光など再生可能エネルギーを推進する可能性、温暖化防止についても述べてください。
2. 現在の福島第1原発の状態、除染のむずかしさ、原発の危険性、放射性廃棄物の処分の困難、原発及び事故処理労働者の被ばく、プルトニウムの核兵器への転用可能性等についても知る内容にしてください。
3. 放射線被ばくが引き起こす、長期的、短期的な影響、低線量被ばくの影響についても書いてください。
4. 子どもたちが、自分たちで考えることのできる教材を提供するように工夫してください。そのために、原発維持に偏らず公平性を守り、人権と正義を基本としてください。また、福島事故の被害にあった子供たちと地域の体験を多く入れてください。
5. 福島県をはじめ放射能汚染地域の子どもたちのために次の対策を行ってください。
 - (1) 運動場での被ばくを回避するために、小学校、中学校、高校に屋内での体育活動を可能とする、体育館とプールを早急に建設する。
 - (2) 子どもたちの被ばくによる影響を発見できるような健康診断と発見された場合の生涯にわたる医療費の無料化を行い、子どもたち一人一人の被ばく線量と健康診断結果を記録する。

呼びかけ団体：地球救出アクション97、若狭連帯行動ネットワーク、ヒバク反対キャンペーン、 科学技術問題研究会

賛同団体：さよなら原発・北葛の会、ストップ・ザ・もんじゅ、原発はごめんだヒロシマ市民の会、大阪教育合同労働組合高校支部、原発さよなら四国ネットワーク、ノーニュークス・アジアフォーラム・ジャパン、女・女西宮、宝塚医療生活協同組合、原発を考える品川の女たち、奈良県高等学校教職員組合、奈良教職員組合、青森県反核実行委員会、NPO法人 安全な食べものネットワーク オルター、全日本建設運輸連帯労働組合トーカイコンクリート分会、国際女性年連帯委員会、チェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西、まちづくり県民会議、川内原発活断層研究会、東電福島原発事故から3年・東日本の子どもたちはどうなっているのか・世の中はどうなっていくのかー語る会、原発の危険性を考える宝塚の会、関西よつ葉連絡会、奈良脱原発ネットワーク、反原発奈良教職員の会、原発いらん！山口ネットワーク、ふえみん婦人民主クラブ、全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部、天城分会、西京運輸分会、永和商店分会、安威川分会、新大阪生コンクリート分会、生コン協同高槻分会、ナニワ生コン分会、高槻生コン分会、藤原生コン茨木分会、北大阪生コン分会、新淀生コン分会、川口分会、大浜資材分会、ヒコシン分会、笹木運輸分会、中央写真分会、関西高速運輸分会、信和化工分会、吉田生コン分会、コタニ運輸分会、奈良ブロック朝日分会、生駒タカラ分会、奈良イカルガ生コン分会、奈良タカラ運輸分会、三田ブロック、三田生コン分会、アベックス生コン分会、福井運送分会、ナンセイ分会、但馬統合分会、スリーエス分会、村岡生コン統合分会、兵姫生コン分会、日本機動分会、新湊川運送分会、姫路日々雇用班、大阪今津分会、第七藝術劇場、愛知県学校事務労働組合、さかいユニオン、京都市阪和法律事務所、西京運輸株式会社、原子力資料情報室、双葉地方原発反対同盟、日本消費者連盟、たんぼぼ舎、STOP原子力★関電包囲行動、みらくる∞未来を創るにんげんアクション(2014年7月22日)

新「放射線副読本」を改善し作り直すことを要求します

個人賛同はこちらへお願いします。

名 前	住 所	カンパ

賛同の第2回の集約は11月25日です。団体賛同は別紙でお知らせください。

賛同の集約先：

562-0013 箕面市坊島 4-14-12 前田由隆(若狭連帯行動ネットワーク)

TEL&FAX. 072-721-2956 Eメール nncs-m@wonder.ocn.ne.jp

580-0003 松原市一津屋 4-9-6 稲岡美奈子(地球救出アクション97)

TEL. 072-336-7201 FAX. 072-339-2871 Eメール minako-i@estate.ocn.ne.jp

カンパ 郵便振込 00990-9-72955 地球アクション よろしくお願ひします。

